

安倍首相は異常な執念

「あなたにだけは憲法を変えてほしくない」

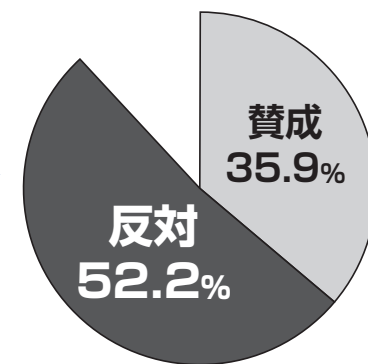


「憲法改正は、必ずや自分の手で成し遂げたい」。安倍首相は改憲に異常な執念です。“参院選で国民は憲法改正の議論を進めろという審判を下した”と繰り返しますが、実際は改憲勢力の国会議席は3分の

2割れし、「性急な改憲反対」が参院選の審判です。どの世論調査でも“安倍政権のもとでの憲法改正には反対”が過半数。「あなたにだけは憲法を変えてほしくない」が多数の声です。

これが民意です

安倍首相のもとでの改憲



共同通信11、12日調査



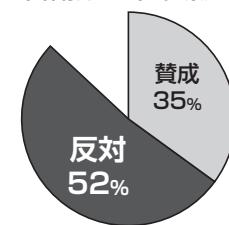
「自衛隊を中東にやるな」官邸前行動

無謀 自衛隊の中東派兵中止を

米にイラン核合意復帰求めよ

米軍のイラン革命防衛隊司令官殺害は、国連憲章違反の先制攻撃であり許せません。イ

自衛隊の中東派遣



JNN11、12日調査

ランの緊張激化を招いたのは米のイラン核合意(注)からの一方的離脱です。トランプ政権に軍事力行使をやめ、核合意に復帰することを求めます。

中東情勢が緊迫するなか、安倍政権が強行した自衛隊の中東沖派兵は余りにも無謀です。派兵を直ちに中止し、トランプ米大統領に核合意への復帰を求める真剣な外交努力をすべきです。

(注) イラン核合意 米英仏口中独6カ国とイランとの合意(2015年)。イランが核兵器の開発・保有をめざさないことを確認して核開発を平和目的に限定し、関係諸国がイランへの経済制裁を解除することが内容。

自民党元幹事長 古賀誠氏「憲法9条は世界遺産」

自民党幹事長などを務めた古賀誠氏が、近著『憲法九条は世界遺産』で「これはどんなことがあっても次の世代につないで



いかなくなくてはならない」と力説しています。9条2項(戦力不保持)を死文化させる安倍改憲はストップを。

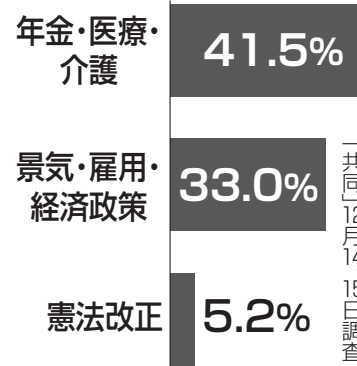
「桜」疑惑、カジノ汚職解明を

国民が政治に最も期待しているのは、年金・医療・介護の充実、暮らしや営業の願い。改憲ではありません(右のグラフ)。

改憲よりやるべきことが

国政では、「桜を見る会」疑惑に続いてカジノ汚職が発覚。首相が血税を使って有権者を買収し、データを闇に葬り、平然とウソをつく。モラル崩壊の政治は徹底的にただすことが必要です。改憲より、やるべきことが山積しています。

安倍政権が優先して取り組むべき課題



「共同」12月14、15日調査

日本共産党